

■コメント

1. 百日咳

定点当り0.58人とやや減少していますが、例年同時期と比べてかなり多い状態が続いています。患者14人の年齢層別内訳は、20歳以上が5人、10～19歳が4人、0～9歳が5人（0歳児1人）となっています。

2. 感染性胃腸炎

定点当り7.08人とやや増加しています。中区、安芸区ともに15.0人となっています。

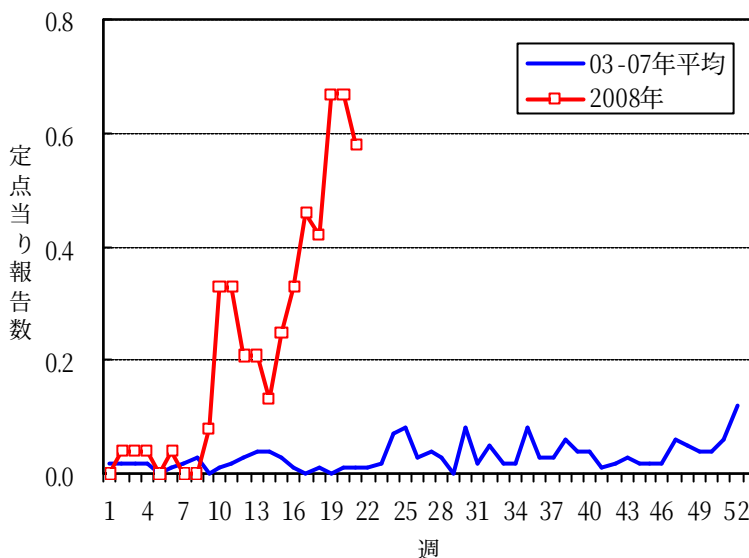
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り3.63人とほぼ横ばいとなっており例年同時期と比べて多い状態が続いています。佐伯区8.7人、安芸区6.0人と特に多く、他の区でも多くなっています。

4. 水痘

定点当り2.79人と増加しています。安芸区では8.0人と特に多く、中区、東区ともに4.0人となっています。

百日咳



■5類感染症報告状況（定点把握対象分）

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年（注1）	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年（注1）	発生記号
インフルエンザ（注2）	1	0.03	0.71		ヘルパンギーナ	9	0.38	0.55	
咽頭結膜熱	11	0.46	0.54		流行性耳下腺炎	3	0.13	0.92	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	3.63	2.04	→	RSウイルス感染症	1	0.04	-	
感染性胃腸炎	170	7.08	6.89	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	67	2.79	2.19	→	流行性角結膜炎	6	0.75	1.08	
手足口病	20	0.83	1.54	→	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	15	0.63	0.42	→	無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	
突発性発疹	22	0.92	0.80	→	マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.40	
百日咳	14	0.58	0.01	→	クラミジア肺炎（注3）	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数（小児科定点を含む）	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

（注1）過去5年間（RSウイルス感染症は4年間）の同時期平均（定点当り）

（注2）鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

（注3）オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況（全数把握対象分）

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	75	男性（20歳代）・1人、男性（40歳代）・2人、男性（80歳代）・1人
5	梅毒	2	5	男性（30歳代）、女性（70歳代）
5	麻しん	1	35	男性（10歳未満）

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

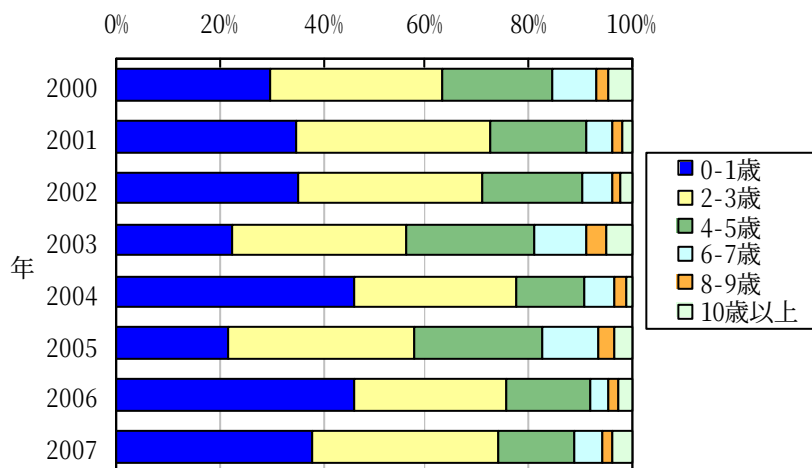
			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん 百日咳 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 RSウイルス感染症 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎 (注2)																	
			インフルエンザ (注1)																	
報告数	広島市	第17週	39	7	77	184	57	25	5	30	11	3	2	3	-	-	-	3	-	
		第18週	23	23	61	151	52	15	7	18	10	1	1	-	-	5	1	-	6	-
		第19週	4	20	59	113	48	23	5	9	16	-	2	1	-	4	-	-	5	-
		第20週	4	10	83	154	41	35	11	21	16	3	-	2	-	3	-	-	3	-
		第21週	1	11	87	170	67	20	15	22	14	9	3	1	-	6	-	1	4	-
定点当り	広島市	第17週	1.05	0.29	3.21	7.67	2.38	1.04	0.21	1.25	0.46	0.13	0.08	0.13	-	-	-	-	0.43	-
		第18週	0.62	0.96	2.54	6.29	2.17	0.63	0.29	0.75	0.42	0.04	0.04	-	0.63	0.14	-	-	0.86	-
		第19週	0.11	0.83	2.46	4.71	2.00	0.96	0.21	0.38	0.67	-	0.08	0.04	-	0.50	-	-	0.71	-
		第20週	0.11	0.42	3.46	6.42	1.71	1.46	0.46	0.88	0.67	0.13	-	0.08	-	0.38	-	-	0.43	-
	第21週	0.03	0.46	3.63	7.08	2.79	0.83	0.63	0.92	0.58	0.38	0.13	0.04	-	0.75	-	0.14	0.57	-	
全国	第19週	0.19	0.39	1.75	5.31	2.02	0.38	0.11	0.54	0.06	0.17	0.39	0.04	0.03	0.71	0.03	0.02	0.38	0.01	
	第20週	0.20	0.47	2.85	6.79	2.07	0.49	0.15	0.68	0.11	0.25	0.43	0.05	0.02	0.81	0.02	0.03	0.35	0.02	

注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く 注2)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	9	男	2008/04/23	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	7	男	2008/04/24	鼻汁(拭い液)	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	4	女	2008/04/24	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	女	2008/04/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	女	2008/04/15	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	40	女	2008/05/02	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	1	男	2008/03/22	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	1	男	2008/03/24	咽頭拭い液	エコーウイルス5型
咽頭結膜熱	1	男	2008/04/18	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
咽頭結膜熱 川崎病	0	不明	2008/03/10	咽頭拭い液	ライノウイルス
重症肺炎	23	男	2008/02/10	咽頭拭い液	ライノウイルス

【参考】広島市における手足口病の年別 年齢階層別割合



手足口病は乳幼児の患者が多く、広島市の2000年から2007年までの集計では、5歳以下の患者が84%を占めています。

年別の年齢階層別構成比(2歳間隔)を比較すると、ほとんど流行のなかった2004年、2006年は、0-1歳の低年齢層の割合が大きくなっていますが、大流行となった2003年および2005年は、より高い年齢層の割合が大きくなっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第21週 6月19日～5月25日)